

100学年度

日文習作三(担当:太田登)

言語は重要な表現手段である。そのことは、日常的な文章表現によって意識化される。したがって、「話す」「聞く」「書く」「読む」という言語機能によって成立する私たちの言語生活をより豊かなものにするためには、文章表現はきわめて重要な言語行為である。

この授業では、日本語の表記や語彙の特色についての理解を深め、日本語の文章表現にたいする習熟をめざし、作文の能力の向上をはかる。

第一学期

1：授業の目的・内容・方法・**評価**などについて説明する。

2：自己紹介の作文

3：「もの」の用法について

4：「こと」の用法について

5：時候のあいさつについて

6：身体語の表現について①

7：身体語の表現について②

8：数字を使った文章について

9：期中試験

10：「取る」の用法について

11：カタカナの用法について I

12：熟語の用法について

13：諺・慣用句の用法について

14：課題作文実践（手紙文）

15：課題作文実践（感想文）

16：課題作文実践（**新聞を読む**）

17：期末試験

18：期末試験の返却と問題点の確認

【評価方法】期中試験40％、期末試験40％、平常成績20％(出席点を含む)

第二学期

1：授業の目的・内容・方法・**評価**などについて説明する。

2：接続詞の用法について

3：副詞の用法について

4：座右の銘を考えよう

5：句読点を活用しよう

6：擬音語・擬態語の用法について

7：類義語の用法について

- 8：カタカナの用法についてⅡ
- 9：期中試験
- 10：「血」のいろいろな表現
- 11：「水」のいろいろな表現
- 12：「色」のいろいろな表現
- 13：比喩表現
- 14：課題作文実践（私の故郷）
- 15：課題作文実践（私の大学）
- 16：課題作文実践（**新聞を読む**）
- 17：期末試験
- 18：期末試験の返却と問題点の確認

【評価方法】期中試験40％、期末試験40％、平常成績20％(出席点を含む)

以 上